

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

神戸まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

神戸市

### 3 地域再生計画の区域

神戸市の全域

### 4 地域再生計画の目標

神戸市の総人口は、約 153 万 7 千人（2014 年（平成 26 年）10 月 1 日時点）であり、1955 年（昭和 30 年）の約 98 万 6 千人から 1.5 倍以上に増加している。もともと、近年、人口増加率は徐々に鈍化し、直近の国勢調査結果に基づく推計人口によると、人口がピークを迎えた 2011 年（平成 23 年）の翌年の 2012 年（平成 24 年）を転換点として人口増加率がマイナスとなり、人口の減少局面に入っている。国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計を基本として神戸市独自で直近の数値を仮定値として置き換えた推計によると、何も対策を講じない場合、2060 年には 2015 年比で総人口が約 70%となる見込みである。人口の減少は、未婚化・非婚化などによる出生数の減少（自然減）や、若年層・ファミリー層の流出（社会減）、団塊世代の高齢化などが原因と考えられる。人口減少や高齢化により、労働力不足に伴う生産量の低下などの地域経済への影響、生産年齢人口の減少に伴う税収減や高齢化に伴う社会保障関連経費の負担増などの地方行政への影響、地域コミュニティの担い手不足や利用者減による公共交通の縮小などの住環境の安全・安心への影響、空き地や空き家の増加によるまちの景観やにぎわいが低下するなどのまちの活力への影響が懸念される。

神戸市が、人口減少課題を克服し、これからもにぎわいのあるまちであり続けるため、次の基本目標を掲げ、次代を担う 20 代から 40 代の若者に選ばれるとともに、人口減少が進む中でも、神戸市が未来に向け、多様で活力ある地域社会を

維持し、魅力あふれる都市として発展するため、誰もが活躍するまちづくりに取り組む。

基本目標① 安定した雇用を創出する

基本目標② 新しいひとの流れをつくる

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内就業者数の現状維持	760,200人	760,200人 以上	基本目標①
イ	東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）への若者世代の転出超過数の解消	2,458人	0人	基本目標②
ウ	市内出生数（約12,000人）の現状維持	12,437人	12,000人	基本目標③
	保育所等利用待機児童の解消	13人	0人	
エ	地区防災計画策定数 (2016年度以降の累計)	—	86地区以上	基本目標④
	県及び近隣市町との連携による取組み件数 (2015年度以降の累計)	—	7件以上	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

神戸まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安定した雇用を創出する事業

イ 新しいひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

#### ② 事業の内容

ア 安定した雇用を創出する事業

「革新」を生み出す新たな起業・創業、新事業創出支援の展開、成長産業の企業誘致等の促進、次代の基幹産業の育成・振興、神戸の中小企業・商業事業者等の競争力強化、人材の確保・育成等、未来を担い、活力を生み出す若い世代に選ばれるために、創業できる環境づくりや就業機会の多様性を確保しつつ、若い世代にとってやりがいがある魅力的な仕事を増やすとともに、より多くの女性や高齢者が、それぞれのスキルを活かし、活躍できるようにする事業。

【具体的な取組】

- ・「神戸スタートアップオフィス」の展開
- ・神戸医療産業都市の推進 等

イ 新しいひとの流れをつくる事業

移住・定住の促進、大学等の活性化、都心・三宮の再整備、ウォーターフロントの再整備、新長田地区の活性化、「神戸里山暮らし」の推

進、六甲山の魅力化促進、神戸ブランドを牽引する魅力あふれるまちづくり、観光客の誘致、芸術・文化・スポーツの振興等、神戸市のもつ多様な魅力を活かし、国内外から様々な人々が神戸市を訪れ、交流する流れをつくとともに、居住するまちとして神戸市が選ばれるために、質が高い暮らしを体感できる居住魅力を高める事業。

**【具体的な取組】**

- ・移住促進に向けた都市プロモーションの展開
- ・大学等の集積を活かした人材の育成・定着 等

**ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業**

妊娠・出産・子育てに切れ目のない支援、教育環境の充実、働き方改革の推進等、若い世代が結婚し、子どもを育てたいという希望を実現できるように、結婚、出産、子育てを優先する社会システムを構築し、仕事と生活の両立を推進する事業。

**【具体的な取組】**

- ・出会い・結婚の促進
- ・確かな学力の育成 等

**エ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業**

時代に合ったまちづくりの推進、神戸における国土強靱化の推進、安心な暮らしの場の創出、地域づくり・地域連携の促進、都市間連携の推進等、急速に進行する人口減少及び超高齢化社会を見据え、都市の活力と地域社会の持続可能性を維持するための取組みを進め、あらゆる世代及び次世代の市民が歳を重ねても、神戸で安心して元気に暮らせる環境をつくり、また、時代の変化の中で、地域に生じる様々な課題を解決するため地域でのつながりの醸成、地域間連携を推進するとともに、隣接市町との連携及び県市協調を積極的に推進する事業。

**【具体的な取組】**

- ・公共交通を中心とした安全で快適な交通環境の形成
- ・土砂災害対策、浸水対策 等

※ なお、詳細は神戸創生戦略のとおり。

- ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））  
4の【数値目標】に同じ。

- ④ 寄附の金額の目安  
219,000,000千円（2020年度～2024年度累計）

- ⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）  
毎年度3月、産官学金労言・議会・住民が参画する本市の有識者会議を活用して、実施事業の効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を検討する。目標の達成状況においては、検証後速やかに市HP等で公表する。

- ⑥ 事業実施期間  
2020年4月1日から2025年3月31日まで

### 5-3 その他の事業

該当なし

## 6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで